

P021R073

2009年11月24日

クリスマスの夜を彩るガラス・アート

「Brilliant Noël -輝きのガラス-」展 12月5日(土)から開催

ポーラ ミュージアム アネックス(中央区銀座1丁目)では、2009年12月5日(土)～12月27日(日)の会期で、「Brilliant Noël -輝きのガラス-」展を開催します。

本展覧会では「輝きのガラス」をテーマに19世紀ヨーロッパのアール・ヌーヴォーのガラス工芸による雪景色や雪の結晶文などをあしらったクリスマスらしいモチーフの作品を中心に、現代日本の江戸切子、そしてガラスと光を用いた現代アート作家・田中香菜氏の作品をご紹介します。聖夜をイメージした幻想的な部屋に、作品は光をまといながら幻想的に展示されます。それぞれの作品は輝きときらめきで、クリスマスの夜を美しく彩ります。

アール・ヌーヴォーは1890年から1910年ごろにかけてヨーロッパで花開いた新しい装飾美術の様式で、自然や動植物の形態をモチーフに、曲線を主体とする斬新な造形を生み出しました。

なかでもエミール・ガレとドーム兄弟は、色ガラスを何層にも重ねて動植物や昆虫などをかたどった、多彩な作品を創り出しました。

今回は、ドーム兄弟の作品を中心に展示します。

江戸切子は、江戸時代に始まったカットガラスの伝統的工法です。

色ガラスの層が薄く鮮やかなのが江戸切子の特徴で、その技術は今日に至るまで長く受け継がれています。今回の展示では、切子としては世界で初めて化粧容器に採用された「B.Aザ クリーム 江戸切子」(ポーラ創業80周年記念)を制作した江戸切子の若き匠・

三代目 秀石^{しゅうせき}の堀口徹氏の作品をはじめとする現代の江戸切子をご紹介します。

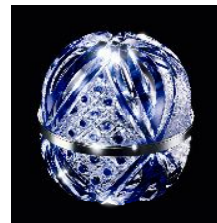
現代ガラス作家の田中香菜氏は財団法人ポーラ美術振興財団の2002年在外研修採択者で、ガラスと光を使ったインスタレーション作品を制作しています。今回は、代表作である「雨」と、クリスマスの夜をイメージして光の反射を効果的に使った作品を展示します。



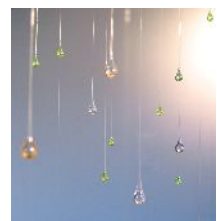
ドーム兄弟 1900年頃

《ヘレボルス文花器》

ポーラ美術館蔵



B.Aザ クリーム 江戸切子



《Rejuvenation》2005年

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス グループ広報室 TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【お客さまからのお問い合わせ】

TEL 03-3563-5501

《展覧会の概要》

- 【展覧会名】 Brilliant Noël -輝きのガラス-
- 【作品点数】 約 30 点
- 【会 期】 2009 年 12 月 5 日(土) -2009 年 12 月 27 日(日)※会期中無休
- 【会 場】 ポーラ ミュージアム アネックス
〒104-006 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3 階
- 【アクセス】 東京メトロ 銀座駅 A9 番出口徒歩 6 分
東京メトロ 銀座一丁目駅 7 番出口すぐ
JR 有楽町駅 京橋口改札徒歩 5 分
- 【連絡先】 電話番号：03-3563-5501
- 【開館時間】 11:00~20:00(最終日は 17:00 まで)
- 【入 場 料】 無料

《作家プロフィール》

三代目秀石・堀口徹(ほりぐち とおる)

(株)堀口硝子の創業者・堀口市雄(初代秀石)を祖父にもつ江戸切子界きっての若き匠。
2008年に三代目秀石を継承。2009年江戸切子新作展にて最優秀賞を受賞。名実ともに今、最も業界で注目される若手職人のひとり。

田中香菜(たなか かな)

愛知県出身。愛知教育大学でガラス工芸と出会い、ガラス芸術作家の道を追求するため、1994年に渡米。東海岸でロードアイランド美術大学大学院修士号を取得後、2000年に活動の拠点を西海岸サンフランシスコに移す。2002年にはポーラ美術振興財団在外研修員。近年はアメリカ各地でパブリックアート制作に力を入れている。



エミール・ガレ 1897-1900 年頃
《雪景文花器》



堀口 徹 《雪解け》 2007 年



堀口 徹 《Ripple》 2005 年



田中 香菜 《Woman in Light --- Guadalupe》 2004 年